

【様式2】

食育月間以外の月の取組 (6月を除いた4月～12月までの実績)

| | |
|--------------------|---|
| 提出都道府県名 政令指定都市名 | 埼玉県 |
| 取組市町村名 | 志木市 |
| 取組の名称 | おいしく減塩！『減らソルト』プロジェクトにおける「おいしく減塩！『減らソルト』フェスタ」 |
| 実施時期 | 平成29年11月23日 |
| 取組内容 | <p>平成28年度の特健診の結果から、志木市は国や県と比べて血圧の基準値を上回る人の割合が多く、高血圧に起因する循環器系疾患の医療費が多くなっていることがわかりました。そこで、健康寿命の延伸には「減塩」に着目した健康づくりを進めていく必要があると考え、5カ年計画で「おいしく減塩！『減らソルト』プロジェクト」に取り組んでいます。「おいしく減塩！『減らソルト』フェスタ」はこのプロジェクトの周知のために開催しました。</p> <p>(1)おいしく減塩！『減らソルト』プロジェクト概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発グッズ(クリアファイル、リーフレット、減塩レシピ)の作成 ・広報紙へのミニコラム掲載 ・民間企業への協力依頼 ・特定健診(集団)で推定摂取食塩量検査の実施 ・減塩教育事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 保育園での減塩給食、情報提供 市内小・中学校での減塩給食、情報提供、食育事業 パパママ学級や離乳食教室での減塩教育 一般介護予防事業での減塩教育 みそ汁塩分チェックキャンペーンの拡充 減らソルトレシピの作成 既存の健康教育事業での減塩教育 ・おいしく減塩！『減らソルト』フェスタの開催 <p>等を通し、乳児から高齢者までのすべての世代へ減塩教育を実施していきます。</p> <p>(2)おいしく減塩！『減らソルト』フェスタ</p> <p>《会場》 志木市民会館パルシティ</p> <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理研究家 浜内千波先生による減塩トークショー ・「野菜と生活 管理栄養士ラボ」野菜de健康まる得セミナー ・楽しみながらの食育 カゴメマト劇場 ・ヤオコー商品企画部長による買い物上手講座 ・十文字学園女子大学による減塩料理の試食 ・十文字学園女子大学によるチェアエクササイズ ・農産物直売所アグリシップしき開催 ・脳年齢、血管年齢測定 ・志木市食生活改善推進員協議会によるみそ汁塩分チェック ・協賛、協力企業ブースにて試供品や健康食品の紹介 カゴメ株式会社、ヤオコー、Alfresa、シマヤ、NUTRI、理研ビタミン、大塚食品 十文字学園女子大学(順不同) <p>来場者数904名。あいにくの天候でしたが目標を上回る来場者で賑わいました。117名のアンケート回答から健康(減塩)意識が高まった75%、どちらかといえば高まった21%の計96%が参加して意識が高まったという結果でした。</p> |





【様式2】

食育月間以外の月の取組 (6月を除いた4月～12月までの実績)

| | |
|--------------------|---|
| 提出都道府県名 政令指定都市名 | 埼玉県 |
| 取組市町村名 | 戸田市 |
| 取組の名称 | 災害時の食の備え(健康福祉まつり内での食育コーナー) |
| 実施時期 | 11月12日～ |
| 取組内容 | <p>【日時】平成29年11月12日(日)11時～15時 【会場】戸田市福祉保健センター 【食育コーナー来場者数】337名 【関連部署】農林水産省、戸田市危機管理防災課、戸田市食育推進市民会議</p> <p>戸田市福祉保健センターでは、毎年11月の日曜日の1日間、健康福祉まつりと題して、大人から子どもまで楽しめるイベントを開催しています。 今年の食育コーナーでは、「災害時の食の備え」をテーマに、パネル及び大人1週間分の備蓄食料品の展示と、展示を見ながら解答するクイズを行いました。クイズの参加者には記念品として、農林水産省提供の「家庭用食料品備蓄に関するリーフレット」と、危機管理防災課提供の、戸田市の備蓄食料品である「缶入りソフトパン」を配布しました。</p>   <p>戸田市食育推進市民会議では、牛乳パックからお皿等を作る「カトー折り」の体験会を実施しました。 「災害時の食の備え」という共通のテーマで市と市民が違った視点からのアプローチで取り組みました。参加者には災害時の食の備えのきっかけづくりとなり好評でした。</p>  <p>また、健康福祉まつり終了後も、福祉保健センターの交流スペース前にパネル及びリーフレット等を常設展示し、福祉保健センターに訪れた方への情報発信を継続しています。</p> |

【様式2】

食育月間以外の月の取組
(6月を除いた4月～12月までの実績)

| | |
|--------------------|--|
| 提出都道府県名 政令指定都市名 | 埼玉県 |
| 取組市町村名 | 坂戸市 |
| 取組の名称 | 「プロに学ぶ料理教室」の開催 |
| 実施時期 | 平成29年11月14日(火) |
| 取組内容 | <p>子どもを対象に、食への興味関心を深め、バランスの良い食事の基本学習と葉酸の摂取促進を目的として、坂戸市食を通じた健康づくり応援店と市民みんなの健康づくりサポーター「元気にし隊」の協力のもと、以下のとおり料理教室を開催しました。</p> <p>日時:平成29年11月14日(火) 午後1時30分～4時 場所:大家児童センター 講師:お米のキッチン モクモク店長(坂戸市食を通じた健康づくり応援店) 参加者:市内在住の小学生20名、元気にし隊メンバー6名、事務局2名 内容:小学生を対象に、「味玉おにぎり、味玉マカロニサラダ、草もち」の調理実習を健康づくり応援店「お米のキッチン モクモク」の店長の指導を受け実施しました。</p> <p>子どもたちは、ご飯にゆで卵を包んだり、もち生地にあんこを包んだりと楽しく実習しました。 また、元気にし隊のメンバーは、講師や子どもたちの補助に入り、調理のサポートをしました。</p> |
| |   |

【様式2】

食育月間以外の月の取組

(6月を除いた4月～12月までの実績)

| | |
|--------------------|---|
| 提出都道府県名 政令指定都市名 | 埼玉県 |
| 取組市町村名 | 鳩山町 |
| 取組の名称 | 鳩山町、鳩山町教育委員会 連携事業 子どもの食育を考えるプロジェクトⅡ「はとっ子給食レシピコンテスト2017」の実施 |
| 実施時期 | 平成29年7月～平成30年3月 (平成23年度はお弁当レシピコンテスト、平成24年度より給食レシピコンテストとして実施) |
| 取組内容 | <p>鳩山町では、平成27年度より「まめで健康21プラン(第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画)」に基づき、地域や関係機関、庁内関係課等と連携を取りながら、健康づくり並びに食育の推進に取り組んでいます。第2次食育推進計画では、家庭、地域、行政等が連携し、各ライフステージに応じた切れ目の無い食育の推進を目標としています。</p> <p>1.目的 同事業は、地元で採れる農産物や特産物を使ったアイデアレシピを募集することにより、地域の農業、町の特産品への理解を深め、また、優秀作品を実際に学校給食メニューとして取り入れることにより、正しい栄養・食生活の知識の普及・啓発を図り、子どもたちの食に対する興味・関心を育むことを目的としています。</p> <p>2.対象 同事業の主な対象は、小中学生とその保護者及び家族としますが、応募資格は、居住地・年齢・性別を問いません。</p> <p>3.内容・方法</p> <p>▼試食による二次審査</p> <p>1) <u>アイデアレシピの募集(7～9月)</u> 町内各所へ応募用紙を設置します。また、小中学校では「夏の自由課題」の1つとして、取り入れられ、応募用紙は各校を通じて全校児童・生徒へ配布し、募集します。下記2つの部門について、アイデアレシピを募集します。 〔応募部門〕①地産地消部門：町の農産物や特産物を使ったレシピを募集 ②給食でこれが食べたい！部門：自由なひらめきによるレシピを募集</p> <p>2) <u>書類による一次審査(9月)</u> 食や栄養を専門とする管理栄養士・栄養士が中心となり、書類審査を行います。</p> <p>3) <u>試食による二次審査(9月30日)</u> ※町健康まつり「ふれあい健康まつり2017」と同時開催 一次審査を通過した各部門上位3作品を実際に料理として再現し、一般町民による試食審査を行います。同時に応募書類による公開書類審査も行います。</p> <p>4) <u>表彰式(10月22日)</u> 入選者を対象に町主催の表彰式を実施します。その他、応募者全員に参加賞を贈呈します。</p> <p>5) <u>学校給食提供(1～3月 ※予定)</u> 優秀作品の中から数点を、実際に学校給食メニューとして提供します。 なお、同事業における連携機関及び内容は、下記の通りです。</p> <p>1) 4) 5) 教育総務課、2) 女子栄養大学、2) 鳩山町栄養士連絡会、2) 3) 5) 学校給食センター、3) 鳩山町食生活改善推進員協議会</p> <p>4.まとめ・考察 平成29年度の応募作品総数は50作品であり、小中学生からの応募は38作品(全体の76%)でした。今年、入賞作品の中から2品が学校給食メニューとして提供される予定です。同事業は、教育委員会や学校給食センターをはじめ、多くの連携機関の理解と協力があり、町の食育事業として地域に広がりつつあります。 同事業を通じて、「子ども達の食に対する興味・関心の向上」や「親子で一緒にレシピを考え、作って食べることによる楽しい食体験」、「生きた教材である学校給食として提供することによる正しい知識の普及・啓発」を図りました。 今後は、より多くの方に応募していただけるための工夫や、より多くの入賞作品を学校給食メニューとして提供できるよう学校給食センター等とさらなる連携を図っていきたく考えます。</p> <p>▼表彰式</p> <p>▼学校給食提供</p> |